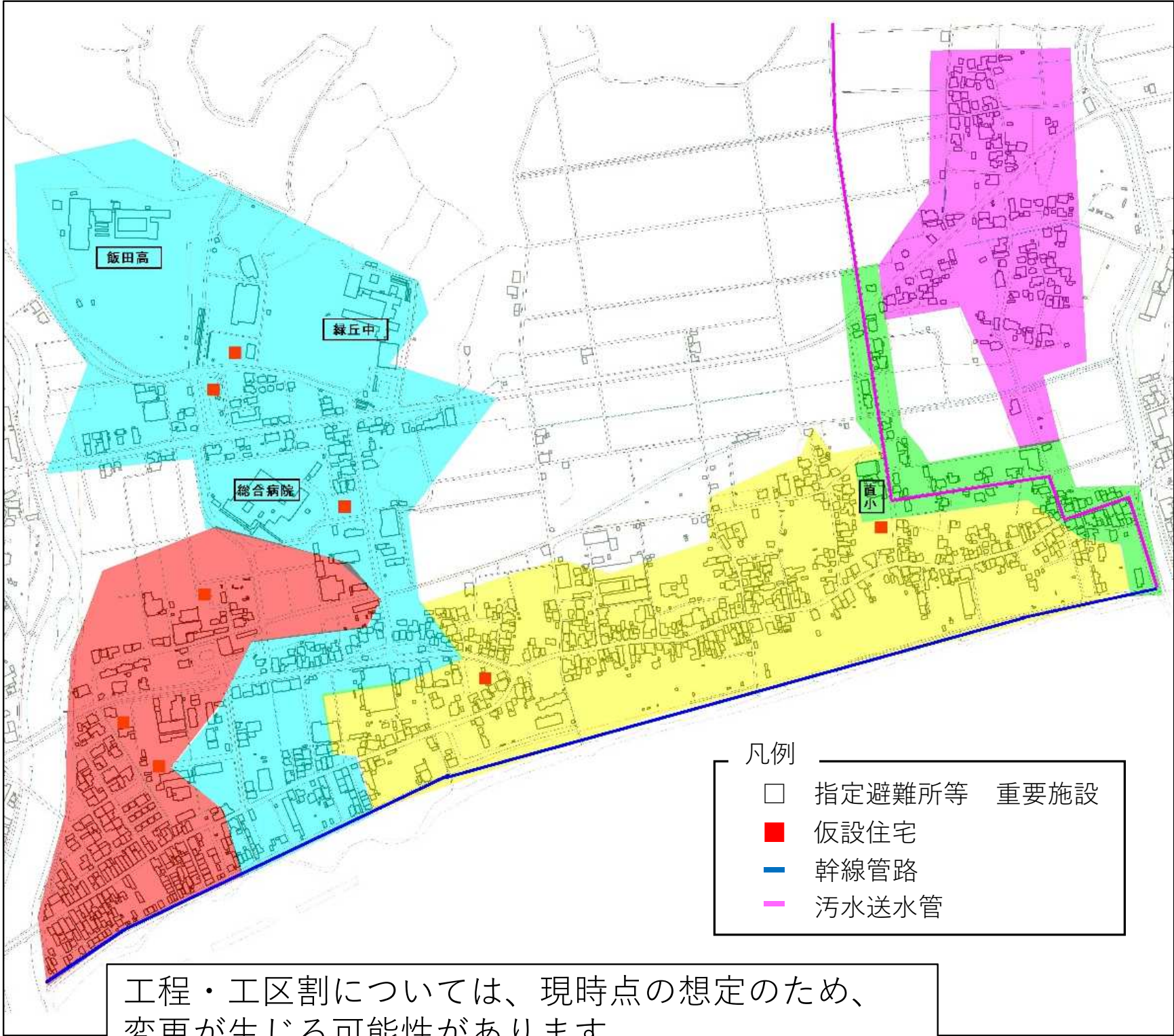


野々江処理分区

事項	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
設計 検討	↔				
第1 工区	↔				
第2 工区		↔			
第3 工区		↔			
第4 工区			↔		
第5 工区			↔		
幹線 管路		↔			



直地区の下水道工事について

1. 能登半島地震における下水道施設の被害状況について

令和6年1月1日の能登半島地震で、珠洲市の下水道施設においては甚大な被害を受けており、下水道管の約8割以上が被災している状況です。

金川下流の右岸にある熊谷ポンプ場から珠洲市浄化センターへ汚水を送水している幹線管路についても被災が確認されました。応急対応として仮管(約 1.7km)を布設しその管を使い珠洲市浄化センターへ汚水を送水することで、平時と変わらない汚水処理を実施しています。



図-1 仮管布設状況(熊谷汚水中継ポンプ場)

2. 下水道施設復旧の進捗について

これまで、上下水道強靱化推進室では下水道管の被災調査、浮上したマンホールの応急対応工事、下水道の本復旧に向けて設計を進めてきました。現在、仮管となっている管は、珠洲市公共下水道(飯田、野々江、正院、蛸島、若山(今後廃止予定))における、重要な下水道管です。そうしたことから、できるだけ早期に本復旧できるよう設計を進め、この度、令和7年11月に工事契約しました。

3. 工事概要について

- (1)熊谷ポンプ場から珠洲市浄化センターまでの汚水を送水している管きょの入替
約1.7km
- (2)各家庭からの汚水を熊谷ポンプ場まで流下させる下水道管のうち、被災が確認されている管の入替
約 0.8km
- (3)下水道工事を実施するために一時的に支障となる水道管の移設
能登半島地震で被災が確認された水道管の入替
約 0.7km

上記工事を①水道工事、②汚水を送水している管きょの入替、③下水道管の入替 の順序で実施予定です。同時に(1)(2)(3)の工事を実施することはできないため、同じ路線で、数回、掘削工事が発生し騒音、振動などご迷惑おかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

工事中期間中においても、下水道(トイレ等)・水道についてはご使用可能です。一時的に切替を実施する際に断水をお願いすることもあります、その際には別途、お知らせいたします。

4. 今後の予定について

・工事契約業者と調整し、具体的な施工方法や工事着手日程等の計画がおおよそ決まりましたら、別途、地区ごとに工事説明会を開催いたします。

直地区の下水道工事について



図-2 工事位置図

	R8				R9				R10				R11	
	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
汚水送水管		←			→									
下水道管						←		→						
水道管	←	→												
舗装本復旧 (未契約)					←				→					

図-3 工程表 (舗装本復旧工事については未発注・未契約)

※上記工程は想定です。今後、受注者より具体的な工程が提出され次第、工事説明会、工事PR ビラにてお知らせします。